

# 「新型うつ病」について

～津山市医師会～



皆さん、「新型うつ病」という言葉をご存じでしょうか？

実は、この言葉自体は学問的なものではなく単にマスメディアを通じて広まった一つの流行語にすぎません。

それでは、わざわざここで取り上げることもないのかと言えば一概にそうとはいえません。

この言葉が広くいき渡った背景には、一見とても病気にはみえない人が「うつ病」という診断を受けて会社を長期に休むなどの現象がよくみられるようになり、それに対する社会の側の強い違和感があったと考えられます。

実は以前より、このような今までのタイプに当てはまらない「うつ病」の症例が増えてきたことはすでに学术界でも話題になっていて、このような「新しいうつ病」の病態として「逃避型うつ病」、「現代型うつ病」、「未熟型うつ病」、「ディスチミア（＝慢性的に続く軽いうつ状態）親和型うつ病」など様々な概念が提唱されていたのです。

では、「新型うつ病」とはどのような「うつ病」を指して「新型」と呼ぶようになったのでしょうか。

それを理解するには、そもそも従来「うつ病」と診断される典型的な症例がどのようなものであったかを知る必要があります。

真面目で仕事熱心、几帳面で責任感が強く誠実、秩序を重んじる性格の人が、その気質ゆえに過酷な状況でも周囲に適応しようと自分をとことんまで追い込んだ結果、精力を使い果たし倒れてしまいます。それでも自分が悪いと責め続け、病気であるといわれてもそれを否定します。このようなタイプが典型的な従来うつ病で、多くは休養と抗うつ薬による治療によく反応するとされます。

それに対し、「新型うつ病」はもともと仕事熱心ではなく、几帳面ともいえないタイプで、自己中心的で秩序への否定的感情と漠然とした万能感を併せ持っている人が、仕事や学業などの本業に対して比較的容易に不適応となり、早々と不調をきたし休職してしまいます。そして、それを周囲が悪いと他者を責め、自らすすんで受診し「うつ病」の診断を求めます。大まかにまとめるとこのようなタイプとなり、休養と抗う

つ薬による治療だけでは症状が慢性化する傾向にあります。もちろん非常に典型的な例をその違いがよくわかるようにやや大げさに書いていますので、この通りの症例ばかりではありませんが、大まかにこれらの特徴を持っていればそのように分類してよいでしょう。

こうやって比べてみると、その違いがよくわかると思います。この2つのタイプが同じ「うつ病」という病名で呼ばれることに疑問が湧いてくるかも知れませんが、しかし、どちらにも抑うつ気分、意欲低下といった共通の症状がみられ、困難を抱えていることでは共通なのです。現在の「うつ病」の診断基準は表面に現れる症状の組み合わせによって「うつ病」かどうか判定する（操作的診断基準と呼びます）ようになっており、このようにタイプは全く異なっても「うつ病」と診断することが可能なのです。この診断基準、もともとは主として研究に用いるために作成された基準であったのが、いつの間にか臨床診断の基準としての地位を確立してきたという経緯があり、必ずしも実際の臨床に即しているとはいえません。病気の経過や心理機制（心の成り立ち）などの重要なプロフィールを考慮に入れないで、ただ症状のみで診断するため、症例個々の個別性が排されてしまい、同じ「うつ病」と診断しても治療への反応性や予後が大きく異なる場合があります。そういった事情で本来の「うつ病」の診断基準にはない「新しい」「うつ病」の概念が新たに提唱されてきたのです。

皆さんもお気付きのとおり、従来の「うつ病」と「新型うつ病」の2つのタイプは、私たちが否応なく受ける社会文化的な変化の影響を大きく反映しています。従来の「うつ病」は勤勉で生真面目、仕事熱心といった昔よしとされた価値観に大きく影響を受けており、その価値観が下落した昨今、新しい価値規範もないままの混沌とした時代の中で「新型うつ病」が目立つようになってきたと言えるでしょう。成果至上主義の隆盛、情報化社会の高度化、病気に対する社会の認知の変化など、目まぐるしく変わる時代において、個々人とそれにより構成される社会とが相互に作用し合う中で「うつ病」の表れ方が変わってきたと捉えることが出来るのです。一般に精神の病気（病気に限りませんが）は社会・文化の変化と切り離して考えることは不可能で、その影響を強く受けながらその表現形が常に変遷していくものなのです。このように、従来の「うつ病」と「新型うつ病」、両者には症状の共通性はありますが、その心理機制や時代・文化背景が異なっており、そのために有効なアプローチが異なる場合があります。表面に表れる事象に惑わされずに個々のケースに適切な対処をしていくことが求められるのです。

希望ヶ丘ホスピタル 藤原裕章

お問い合わせ：津山市健康増進課  
TEL 0868-32-2069